

栃木県庁子育て応援・女性活躍推進行動計画 ～県庁燦燦プラン～

R5取組状況

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）第19条第6項の規定に基づき実施状況等の公表については、以下のとおりです。

1 ワーク・ライフ・バランス実現のための取組

(1) 働き方（勤務環境）の改善

① 働き方改革の推進

「栃木県庁働き方改革プロジェクト2023」に基づき、以下の取組を実施しました。

- ・継続的な業務の見直しによる執行体制の確保として、モデル所属のBPR伴走支援（7業務）や「栃木県庁BPR取組事例集」を更新・配布しました。
- ・チャットGPTの運用開始や業務効率化研修の実施などにより、業務効率化を推進しました。
- ・新任所属長研修や一次評価者研修、出先機関長ミーティング等を活用し、管理職等への働き方改革に係る啓発を行いました。また、「働き方改革・DX通信」の発行（12回）による職員への働きかけを行いました。
- ・職員の自発的な業務改善を推進するため、「スマートワーク・アワード」を実施しました。
- ・PCログ情報を活用し、所属長が課員の働き方の傾向を掴み、業務管理等適切なマネジメントを行うなど、労務管理の徹底を図る過重労働改善の取組を進めました。
- ・所属長や総括補佐、グループリーダーへの階層別研修において、適切な業務管理や超過勤務縮減につながる取組へのスキルアップ研修を実施しました。
- ・所属長のマネジメント力を部下がチェックする「所属長のマネジメントチェック」を実施し、結果を所属長へフィードバックすることにより、適切な業務管理や超過勤務の縮減など、働きやすい環境づくりに向けた取組を促進しました。

② 年次休暇の取得促進

- ・職員自身の休息も含め、子どもの学校行事や家族の通院などの家族のための休暇、ゴールデンウィーク、夏季、年末年始等の時期等に連続した休暇を取得しやすくするため、あらかじめ取得計画を作成するなど、計画的な年次休暇の取得を促進しました。
- ・年次休暇取得目標を16日／年としつつ、労働基準法の趣旨を踏まえ、全職員最低5日／年取得を徹底するための取組を行いました。
- ・上司の声かけによる職場の円滑なコミュニケーションを促し、年次休暇が取得しやすい職場の環境づくりを推進しました。

働き方（勤務環境）の改善に関する数値目標及び実績

項目	基準値		実績		目標値	
	年度	数値	年度	数値	年度	数値
年次休暇の取得率 ※	令和元年度	27.8%	<u>令和5年度</u>	<u>39.3%</u>	令和7年度	40%

※付与日数に占める取得日数の割合

(2) 仕事と家庭の両立

① ライフスタイルに応じた柔軟な働き方の推進

- ・テレワークを推進するため、栃木県庁那須庁舎にサテライトオフィスを新設しました。

② 子育てや介護にかかる制度を利用しやすい環境の整備

- ・育児や介護等を行う職員に対する各種制度利用の呼びかけや、男性職員の育休取得について、本人への呼びかけや周囲への説明等の実施を促進しました。
- ・新任所属長を対象とした研修を実施し、多様な働き方の実現に向けた職場環境整備の重要性を再認識する場を設けました。
- ・所属総括補佐を対象とした働き方改革セミナー（男性育休取得促進セミナー）を開催し、男性の育児休業取得の意義や重要性、組織におけるメリット等を確認する場を設けました。
- ・育児休業等に関する制度をまとめたハンドブックを改訂し、子育てに関わる職員の各種制度の利用を促すとともに、育児休業を取得した場合の収入試算シートを作成し、男性職員の育児休業取得を促進しました。
- ・妊娠中や3歳未満の子を養育していた職員等を対象に、「子育て応援チェックリスト」を配付し、管理的職員が出産・育児に係る各種制度の周知や休暇等の取得促進に取り組んでいるか確認しました。
- ・「男性職員の育児参加プログラム」の様式を「育児休業等取得計画表」として全面改正し、子の出生に伴う休暇・休業の取得について具体的な計画等を記載する様式とすることで、職員の育児休業取得を促進しました。また、管理的職員は当該計画表や職員との面談等を通じ、必要な業務分担の見直しを積極的に行うなど、業務面における環境整備に努めました。
- ・人事担当者会議等を通じ、パートナーの妊娠が分かった男性職員の子の出生に伴う休暇・休業の取得意向の確認を行うよう働きかけ、男性職員の育休等の取得促進を図りました。
- ・育児休業中等（復帰後、取得予定を含む）の職員及びその配偶者、男性の育児休業取得に関心のある職員を対象とした「育休支援研修」を実施し、制度の説明や育児経験のある先輩職員との意見交換等により、不安の軽減を図ることで、育児休業の取得促進や円滑な職場復帰を支援しました。
- ・身上報告書や所属長とのヒアリングを通じて、育児休業から復帰する職員の復帰後の養育環境や今後の働き方の希望を確認するなどして、復帰にあたっての不安の解消を図りました。

- ・産前産後休暇や長期に及ぶ育児休業を取得する職員がいる所属には、代替職員等を配置するほか、令和6年1月から職員が育児休業を含む1か月以上の休暇・休業を取得する場合、業務支援員を配置できることとし、男性職員の育児に係る休暇・休業の取得促進、執行体制の確保に一層努めました。
- ・育児休業を取得する職員の業務を担う同僚職員について、業績評価の付加評価として取組内容を評価することとしました。

③ その他

- ・新任所属長研修を通じ、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等の各種ハラスメント防止に対する啓発を行いました。
- ・ハラスメント等相談窓口を設置し、職員からのハラスメント相談に適切に対応しました。
- ・所属長のマネジメントチェックを通じ、職場内のハラスメント防止に努めるよう促すとともに、人事担当者会議等を通じ、風通しの良い職場づくりに努めるよう働きかけました。
- ・身上報告書や所属長とのヒアリングをもとに、子どもの養育や家族の介護の状況等に応じて、可能な範囲で人事異動について配慮を行いました。
- ・職員住宅入居者や職員駐車場利用者の決定に当たり、子どもの養育や家族の介護の状況等に配慮しました。

仕事と家庭の両立に関する数値目標及び実績

項目	基準値		実績			目標値		
	年度	数値	年度	数値		年度	数値	
男性職員の育児休業取得率 ※1 ※2	令和元年度	13.8%	令和5年度	知事部局等 85.0%	100%	令和6年度及び令和7年度	知事部局等 100%	100%
男性職員の妻の出産休暇の取得率	令和元年度	90.4%	令和5年度	92.8%		令和6年度及び令和7年度	100%	
男性職員の妻の出産時の子の養育休暇の取得率	令和元年度	48.9%	令和5年度	67.5%		令和6年度及び令和7年度	100%	

※1 国の方針により令和4年度実績から知事部局等(知事部局及び教育委員会事務局を除く各委員会事務局)と企業局に部門を分けて数値を公表

※2 令和5年9月に知事部局等及び企業局の令和6年度及び令和7年度の目標値を30%から100%に変更

2 女性職員活躍推進のための取組

(1) 女性職員のキャリア形成の支援と積極的な登用

① 年代に応じた能力開発・能力活用と配置

- ・男性・女性を問わず、人事異動等において、多様な職務を経験できるよう配置を行いました。

② 女性職員の積極的な登用

- ・昇任に当たっては、例えば、育児休業期間があるために実際に勤務している期間が短い職員であっても、本人の能力・意欲・勤務成績などを総合的に判断し、昇任にふさわしい職員であれば積極的に上位の職位への登用を図りました。

③ 能力開発及びキャリア意識の向上のための研修の実施

- ・各階層に応じた研修を実施し、その中でキャリアデザインについて考える機会を設けました。
- ・係長1年目等の中堅女性職員を対象とした「女性職員能力開発研修」を実施し、リーダーに求められる心構えやスキルを学ぶとともに、ロールモデルとなる先輩女性職員との意見交換を通じて、リーダーとして更に成長していくことへの意識を高めました。
- ・管理者層を対象として「管理者研修」を実施し、女性職員の育成や女性職員の活躍促進の意義を学ぶとともに、男女ともに働きやすい職場環境づくりを促進するため、管理者に求められる役割を理解する場を設けました。

女性職員の活躍推進に関する目標

項目	基準値		実績		目標値	
	年度 ※1	数値	年度 ※1	数値	年度 ※1	数値
管理的地位（課長級以上）にある職員に占める女性職員の割合 ※2	令和2年度	9.4%	令和5年度	14.1%	令和8年度	16%
課長補佐級にある職員に占める女性職員の割合 ※2	令和2年度	27.0%	令和5年度	32.4%	令和8年度	30%

※1 各年度4月1日現在

※2 栃木県教育委員会事務局及び県立学校の職員（教員籍の職員を除く）を含む

(2) 女性受験者の拡大

① 県庁の魅力等の発信

- ・職員採用説明会の実施や大学や民間企業が主催する就職説明会などへの参加に加え、若手職員との座談会（トーク・カフェ）を開催し、積極的に県の仕事内容を知ってもらうための広報活動を行いました。
- ・県職員の仕事の魅力を紹介するSNS（インスタグラム及びフェイスブック）を活用し、若者を中心に県職員の仕事に興味・関心を持ってもらえるよう取り組みました。
- ・職員募集案内専用ホームページにより、育児支援に関する休暇制度や職員のインタビュー記事を掲載し、男女問わず、仕事と育児の両立ができる職場であることをPRしました。
- ・栃木県庁インターンシップ及びオープンゼミを開催し、実際に県庁で働くイメージをより具体的につかんでもらうとともに、学生の「興味・関心」が「志望」にステップアップするよう取り組み、より多くの受験者を確保できるよう取り組みました。

3 地域の子育て応援のための取組

- ・職員が親子で参加でき、また多くの職員が参加できるように県内観光施設入場券配布事業等を実施しました。
- ・県内の妊娠から出産、子育てに関する情報を一元化し、子育て支援制度や県内各地の体験・学びの遊び場等の情報を発信する「栃木県子育て支援ポータルサイト『とこぼ』」を開設しました。
- ・子育てに負担を感じている方に、少しでも前向きになってもらえるよう、相談会やトークショー、各種ブースなどで交流ができる、子育て応援イベントを開催しました。
- ・子育て世帯が協賛店舗等で提示することで割引・特典等の優待が受けられる「とちぎ笑顔つぎつぎカード」を栃木県 LINE 公式アカウントで券面を表示できるようにし、利用者の利便性向上を図りました。
- ・子どもを対象とした「県政出前講座」を57件実施しました。（別添 1 参照）
- ・11所属の施設公開デー等において、子どもを対象とした企画を実施しました。（別添 2 参照）

別添1

子どもを対象とした「県政出前講座」の実施(広報課等)

講座名	件数
看護への道	14件
土砂災害から身を守る	14件
川遊びの注意点について～急な増水等による水難事故の防止等～	19件
山地災害に備える	15件
学ぼう！ごみを処理する施設	10件
ストップ！クビアカツヤカミキリ！	1件
栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15(いちご)戦略(第2期)」について	1件
子どもの体力向上について	1件
とちぎの文化財～タイムマシン文化財号～	3件
薬物乱用の防止について	1件
がんについて	1件
歯と口腔の健康づくりについて	1件
発達障害の基本的な理解と対応について	1件
交通安全教室	1件
地域安全教室	3件

令和5(2023)年度 施設公開デー等における子どもを対象とした企画

所 属 名	イベント名	プログラム名
広報課	県庁walk(小学生と保護者版)	親子県庁見学会
美術館	創作工房 [アトラウンジさくら塾]	絵画や工作等の体験
	美術館ふしぎ発見!	美術館についてのクイズ形式学習
	親と子のための美術鑑賞教室	ミニワークショップ付きコレクション展鑑賞会
	美術館クイズ探検	クイズ型コレクション展鑑賞会
	夏休みワークショップ	絵画や工作等の体験
博物館	見学会・観察会	ナスヒオウギアヤマ鑑賞会 など
	体験講座	火山灰は宝石箱 など
	博物館でやってみよう!	扇ぬりえ体験、川じりから化石をみつけよう など
	県立博物館の日	体験活動、クイズにチャレンジ、キッズツアー など
	社会体験学習	博物館職場体験学習受入
	子どもの未来創造大学	まが玉をつくろう、とちぎの化石～化石を探そう～ など
資源循環推進課	なかがわ水遊園での環境学習講座	海ごみが与える影響の学習、エコバックの作成など
保健環境センター	とちぎ子どもの未来創造大学	夏休み科学講座「気候変動による影響と適応を考えよう」
動物愛護指導センター	動物ふれあい教室	子犬とのふれあい体験 など
	動物愛護ふれあいサマースクール	犬の正しい飼い方講義、獣医さん体験 など
	とちぎ子どもの未来創造大学	動物愛護指導センターの仕事を知ろう など
計量検定所	夏休み親子計量教室	ばねはかりをつくってはかろう!
	プラザのつどい	計量検定所施設見学会 など
産業技術センター	とちぎ子どもの未来創造大学	身近にある“もの”の科学講座(産業技術センター) など
	プラザのつどい	産業技術センター見学会 など
県央産業技術専門校	産技大祭	ものづくり体験、ドローン操縦体験など
農業試験場	のうぎょうラボ2024@農業試験場いちご研究所	農業に係る体験型講座
畜産酪農研究センター	とちぎ子どもの未来創造大学(特別体験学習)	獣医の仕事体験 など
砂防水資源課	ダム見学会	新発見!!ダムの魅力探索旅
下水道管理事務所	とちぎ子どもの未来創造大学	下水道を体験しよう
	巴波川流域下水道フェスティバル	下水道PRポスター展 など
	渡良瀬川下流流域下水道(大岩藤処理区)下水道フェスティバル	下水道PRポスター展 など
	渡良瀬川下流流域下水道(思川処理区)施設公開デー	下水道PRポスター展 など
消防防災課	栃木県防災館 春の防災フェスティバル	体験・展示イベント
今市発電管理事務所	とちぎ子どもの未来創造大学	水の力で電気を作るしくみを知ろう
北那須水道事務所	とちぎ子どもの未来創造大学	浄水場の秘密【水道水ができるまで】
鬼怒水道事務所	とちぎ子どもの未来創造大学	蛇口からおいしい水が出る秘密を知ろう